

水郷潮来 あやめまつり

潮来市

水に囲まれた水郷地帯として知られる潮来市。

潮来市は、古くから水運陸路の要所として栄え、大化の改新のころ国府(現在の石岡市)から鹿島神宮へ通じる駅路「板来の駅」が置かれたのがまちの始まりだと伝えられています。その昔は、地名を「伊多古」「伊多久」と称し、また常陸風土記には「板来」と書かれていたのを、元禄12年、水戸藩主徳川光圀が「鹿島の潮宮」にあやかつて「潮来」と書き改め、今日に至っているといわれています。

江戸時代の潮来は、下総の佐原と並ぶ水運の要所で、東北諸藩から江戸へ運搬する米や海産物、木材などが潮来を経由して運ばれ、最盛期には年間四百艘もの荷船が出入りしたといわれます。



その水郷地帯に昭和51年に開園した「水郷潮来あやめ園」。園内には、約五百種・百万株のあやめ(花菖蒲)が植えられており、6月10日前後に見頃を迎えます。早咲きから遅咲きへと移り変わりながら、可憐で上品なあやめが一面に広がる様子は、年間80万人を超える多くの観光客の目を楽しませてくれます。

今年で68回目を迎える「水郷潮来あやめまつり」。期間中には「潮来花嫁さん」の歌で親しまれる「嫁入り舟」や、「ぎつちらぎつちら」と櫓をこぐ音が何ともいえず水郷情緒たっぷりの「ろ舟遊覧」も楽しめます。さらに、夜には園内がライトアップされ、昼とは違った幻想的なあやめを見ることが出来ます。

美しい紫色のあやめが咲き揃う中、水の都の歴史に触れつつ、初夏の散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>

いきいき茨城ゆめ国体2019



を応援しております。